

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	市民会館管理運営事業	コード	03-02-04-02	担当課係	日生地域公民館	
事業実施期間	昭和57年度～		担当者	植田 学	電話	0869-72-1006
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり				
	中項目	生きがいのあるまちづくり				
	小項目	公民館				
	施策	施設の整備・充実				

事業について	
目的	市民の生活文化及び教養の総合的向上発展のための場と機会を提供しもって福祉の増進に資することを目的とする。
対象 (誰のために)	備前市在住の人、備前市に在職の人、その他関係条例、規則を遵守し使用を希望する人
内容	貸館業務・公共的な催しの利用・各公民館で実施しているグループ活動の発表の場の提供

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
市民会館年間開館日数	307 日		
市民会館年間利用日数	286 日		
市民会館年間利用人数	28,055 人		
年間ホール利用日数	138 日		
年間ホール利用人数	10,861 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	12,643	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,095	受益者負担	504	人件費		受益者負担	
	合計	17,738	市債		合計	0	市債	

結果指標①	結果指標名	ホール利用日数	
	結果指標量	138	
	単位	日	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	17,738,000 円	

結果指標②	結果指標名	ホール利用人数	
	結果指標量	10,861	
	単位	人	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	17,738,000 円	

事業の成果			
成果指標名	ホール稼働率	式又は説明	ホール年間利用日数/開館日数
成果指標量	17年度 44.95%		
到達目標値	50%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：備前市立日生市民会館設置条例	企業が主催する催し物、市等が後援・共催する劇や映画・コンサートなど年間十数件、大ホール舞台を使用しての行事、または、会議室等を使用した企業、団体の会議・展示会・説明会・講習会なども年間100件余り利用されており、地域住民、地元企業のニーズに応えている。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	建物・設備が古くなり維持管理経費が増加傾向にあるが、そのうち、冷暖房費・電気代などの燃料費・光熱水費の削減について地球に優しい方法で省エネができるよう検討中で、早ければ来年度から取り組みたい。また、公民館と違い積極的に施設のPRを行い、利用実績を向上させる必要があると考えられる。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	大ホールの利用についてはまだ余地があるので、民間や市外・県外にも積極的にこの会館施設の魅力や利用方法を広くアピールし、利用実績を向上させるようにする。コンサートや観劇を開催していただけるよう広報活動に努める。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	市のHPに掲載されている事項を見直し更新する。インターネット、広報誌、ポスター等を通じて市外・県外などへ広くアピールし、利用率の向上を図る。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	154	結果指標量②	12,000
目標値	結果指標量	50%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	広報活動を活発化して利用件数を向上させる。	平成18年度	施設全体の稼働率のアップと使用料の増額が期待できる。